

会議録

会議の名称	令和8年度加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会
開催日時	令和8年7月9日（木） 午後2時00分から午後3時30分まで
開催場所	加東市東条福祉センター「とどろき荘」多目的ホール
出席及び欠席委員の氏名 （出席委員9人）	
説明のため出席した者の職氏名 加東市社会福祉協議会（指定管理者） 会長 中村 勇、事務局長 楳本 俊也、副課長 前田 恵	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 健康福祉部 部長 菅野 勇一 福祉総務課 課長 平野 好美、主査 赤土 拓也	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 1 協議事項等 （1）会長、副会長の選出について （2）令和7年度決算及び令和8年度事業計画（案）について （3）今後の運営方針について （4）その他 2 会議資料 ・委員名簿 ・令和7年度決算及び令和8年度事業計画（案） ・とどろき荘の今後の運営方針について 3 会議の経過 別紙のとおり	

(別紙) 令和8年度加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会の経過

1. 開会
2. あいさつ
3. 出席者紹介
4. 協議事項等

(1) 会長、副会長の選出について

会長は委員の互選により、加東シニアクラブ連合会の藤原委員が承認を得て、選任された。

副会長は会長の推薦により、民生児童委員連合会の片山委員が承認を得て、選任された。

(2) 令和7年度決算及び令和8年度事業計画(案)について

発言者	会議の経過／発言内容
指定管理者	<資料に基づき令和7年度決算及び令和8年度事業計画(案)について説明を行う>
委員	資料7ページの3月の入浴者数等が0になっているが、3月に休業を伴う修繕工事を行うということか。
事務局	その予定である。 施工業者との協議前であり、確定ではないが、昨年度の実績から利用者数への影響が少ない3月頃に施工することを想定し、資料を作成している。
委員	令和8年度の入浴者数の目標は、令和7年度と同程度の入浴者数を目標としているのか、令和7年度に休業せずに運営したと仮定した場合の入浴者数を目標としているのかどちらか。
事務局	令和8年度についても1か月程度の休業を見込んでいることから、令和7年度の実績と同程度を目標としている。
委員	これまでの入浴者数増加に向けた取組の中で効果のあったものは何か。
指定管理者	入浴券販売促進キャンペーンを年4回実施しており、売上の増加と常連客の確保につながっている。
委員	ミニ文化祭等の来館者が多いタイミングでキャンペーンを行うなど、工夫が必要だと考えるがどうか。
事務局	すぐに効果がでる取組はないが、今いただいた意見も参考に、トライアンドエラーを繰り返しながら、泉質の良さなどをアピールしていきたいと考えている。

(3) 今後の運営方針について

発言者	会議の経過／発言内容
事務局	<資料に基づき今後の運営方法について説明を行う>
委員	高齢者が増加している中で憩いの場・集いの場であるとしどろき荘は必要であり、地元住民の1人として継続していただきたいという思いである。 しかし、600円という入浴料金を今後も続けていくことは難しいため、入浴料金の変更については検討する必要があると考える。
事務局	入浴料金の見直しは必要であると考えているが、入浴料金の安さがとしどろき荘の強みでもあるため、慎重に判断したい。
委員	入浴料単価とはどのような計算か。

事務局	入浴料収入÷利用者数で計算をしている。
委員	回数券は10回分の値段で11回入浴できるということか。
指定管理者	おっしゃるとおり。
委員	入浴料金はどのように決定されるのか。
事務局	とどろき荘の入浴料金は条例で定められているため、加東市議会で決定されるが、その前に当審議会でも諮ったうえで案を作成する。
委員	とどろき荘の入浴料金について、現行の600円で維持するか、値上げをする考えはあるか。
委員	近隣施設がとどろき荘より入浴料金が低い状況であるが、とどろき荘は施設が古く、同程度の金額とした時にこれまでの利用者がそのままとどろき荘を利用するかという部分が心配である。
委員	令和8年度については試算の結果、600円のままで収支バランスの取れた運営ができるということなので現状維持でよいと考える。 将来的に考えると単価を上げていく必要はあるが、もう少し年数をかけていくべきである。
委員	今年度については、現状維持としたい。 仮に当審議会でも値上げの方針が決定した場合は、いつから料金に反映されるか。
事務局	基本的には審議会開催の翌年度4月から変更とする予定である。 ただし、入浴料金の値上げについては、指定管理料収入も含めて検討する必要があると考えている。 今期の指定管理期間の満了が令和9年度末であり、令和10年度から始まる新たな指定管理期間に向けた指定管理料の算定においては、人件費の上昇等を加味して算定するため、現在の指定管理料より大幅な増額になると予想される。 来年度の運営審議会では、新たな指定管理料も含めて議論いただき、方針を決定する必要がある。
委員	新規顧客の獲得に向けたPR等、アイデアはあるか。
委員	昨年の実績を見ると夏場の入浴者数が増加しているが、入浴者数を維持できている理由はなにか。
指定管理者	特別なイベント等を実施したわけではないが、不感温浴（体温と同程度の水温でゆっくりと入浴する入浴法）に関することを館内に掲示したことやSNSで発信したことにより、夏場の入浴者を確保できたと考えている。
委員	可能な範囲で目を引くイベントを実施することと、地道に継続していくことが重要だと思うので引き続き努力してほしい。

5. 閉会